

# **Pocke TATOR**

## **マスト取付アダプター製作**

### **参考資料**

**2021-07-01**

**Ver1.0 by Pocke Tech**



## 【目的】

Pocke TATOR の設置は、元々サイドにポールを添わせて取り付ける構造になっています。

しかし、移動運用等で三脚等に取り付ける時、片持ちとなるため軽量ではありますがバランス的にどうかな?とっていました。

また、防水仕様でもないためベランダなどでの使用においても簡単に取り外しができる取付方法があれば良いという意見もいただきました。

そこで、元々用意していた Pocke TATOR の底面の 3 つのナットを活用して底面での取付（重心バランスが良くなる）ができ、マストにちょこんと被せて設置ができるアダプターを製作することとしました。

## 【使用部品】

使用した部品は、ホームセンターなどの販売されている塩ビ管とネジ/ナットのみです。

① VP50x0,25M	1 本	¥181
② VP65x0.25M (6cm、3cmx2 に切断して使用)	1 本	¥275
③ インクリーザ VU-IN65x50 (異形ジョイント)	1 個	¥300?
④ M6x20 ネジ (ステンレス)	6 本	¥35?
⑤ M6 ナット (ステンレス)	3 個	¥11?
⑥ M8x45 ボルト (ステンレス)	3 本	¥64
⑦ M8 ナット (ステンレス)	3 個	¥13

※ 塩ビ/金属に使用できるボンド

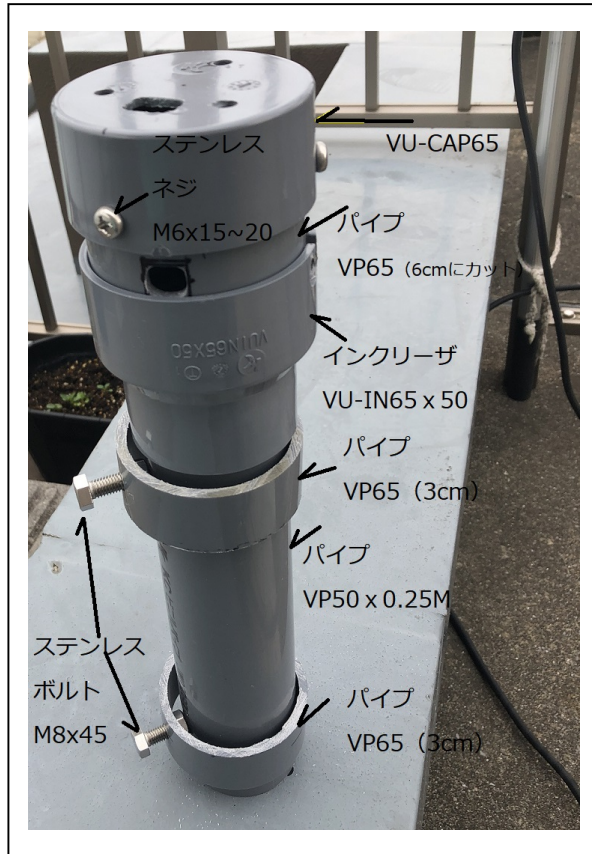
セメダイン superXDuo (2液タイプ) 使用

※ 価格は joyfulHONDA での購入価格です。?がついているのは昔の購入で価格が定かではないものです。価格は全て、1 個分。

※ 塩ビ管はお店によっては 25cm 物が売っていないケースもあります。その時は長いものから切り出して使用します。

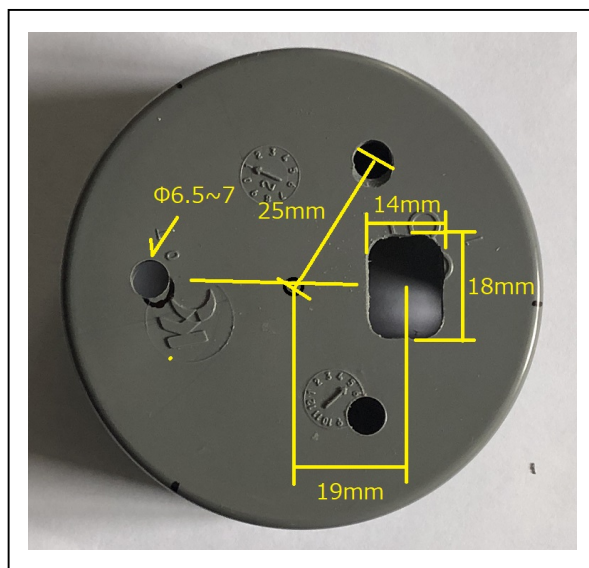
## 【製作】

### ① まず全景です。



使用部品を組み合わせた全体イメージを把握できます。

### ② Pocke TATOR を取り付ける CAP 部分の加工



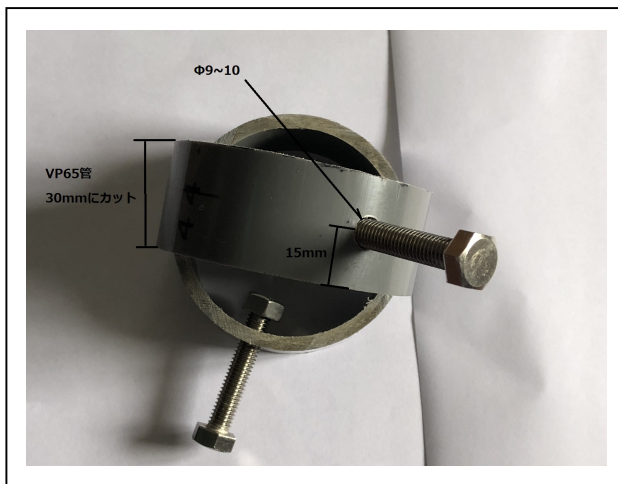
Pocke TATOR の底面のナットは、半径 25mm、120 度角で埋め込まれています。

M6 のネジを使って固定するので少し大きめの穴を空けます。

制御ケーブルを取付ける穴は、中心から 19mm の位置をセンターに

14mmx18mm より少し大きめの穴をあけます。

### ③ ホルダー部の加工

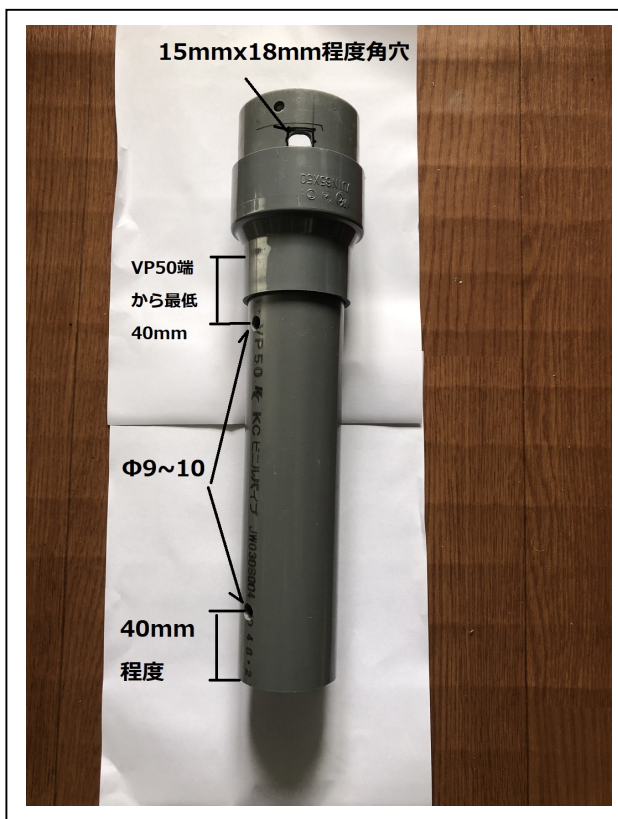


VP65 管を約 30mm 幅にカットしたものを 2 個作ります。

30mm 幅の真ん中辺りに (15mm) 8mm のボルトが通る穴(8.5~10mm 程度)を空けます。

写真のように穴に M8 のボルトを通して M8 のナットを仮留しておきます。

### ④ メインマストホルダー部の加工



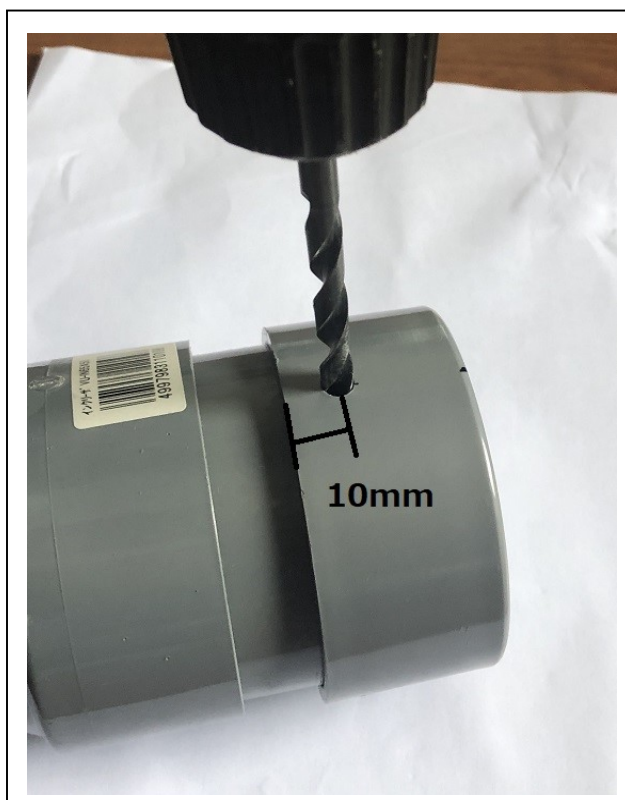
既に、VP65 管 (約 6cm にカット) と VP65x50 インクリーザと VP50 管が組み合わされた状態になっていますが、VP50 管には、端から 40mm 程度 (上部は 40mm 以上) の所に③で作ったホルダーの 8mm のボルトを通す穴 (8.5~10mm) を上下 2 か所空けます。

VP65 管には制御ケーブルのコネクタが通る大きさ(約 15mmx18mm) の穴を開けます。

この穴は、次の⑤で説明する②で作った CAP を固定する穴加工をした後の方が良いでしょう。

VP65 管、VP65x50 インクリーザ、VP50 管は接合部分にボンドを塗り、金槌等で叩き、しっかり嵌合させ固着させます。

#### ⑤ CAP 部と VP65 管の結合穴加工

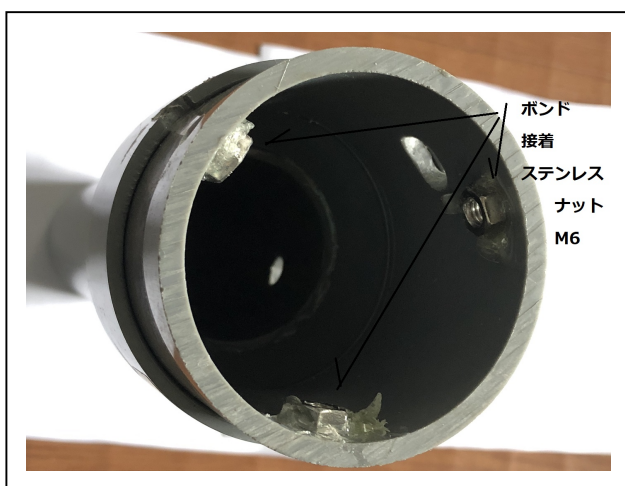


④で作ったメインマストホルダーに②で作った CAP を被せて固定するネジ穴加工をします。別々に開けると位置合わせが大変なので、CAP を被せた状態で VP65 管とともに穴あけをします。VP65 管に対して CAP の被せ幅は約 20mm とします。

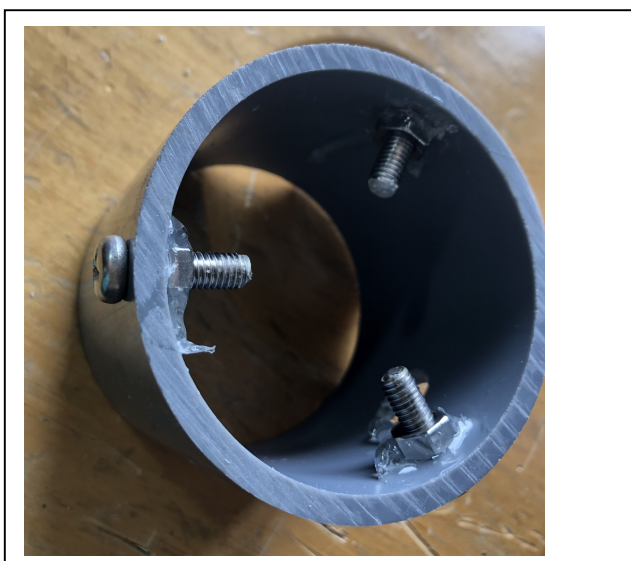
(金槌等で叩くと 25mm 程入りますが取り外しを考慮して約 20mm としています)

穴位置は、CAP 端から約 10mm の位置に 6mm のネジが通る大きさ ( $\Phi 6.5 \sim 7\text{mm}$ ) で約 120 度角で 3 か所開けます。

#### ⑥ CAP 取付け用ナットの固定



⑤で開けた VP65 管の穴の内側に M6 のナットをボンドで固定します。ボンドには、速乾性の高い 2 液の物を使用しました。



ボンドが固まるまでは  
M6 のネジで締めて固定  
しておきます。

**注意事項：**

くれぐれもネジ穴にボン  
ドが入らないようにして  
ください。

ネジと一緒に固まると取  
れなくなります。

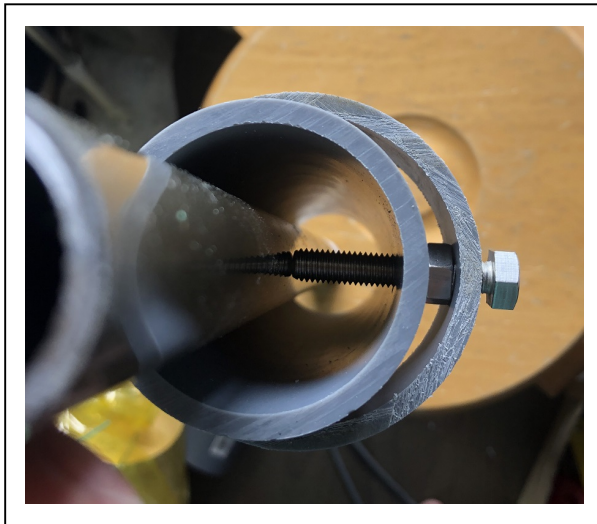
ナットを固定するボンドが固まれば完成です。

**【取付】**

① ポールへの取付イメージ



取付をするマストポールに  
**【製作】**④で作ったメイン  
マストホルダーを被せ、③  
で作ったホルダーと M8 の  
ネジで締めて固定するイメ  
ージです。



締められている様子を上から見た写真です。

## ② Pocke TATOR の取付

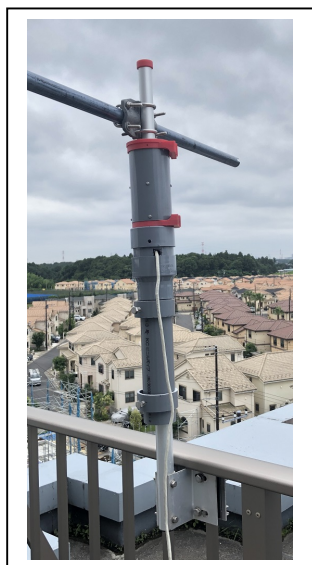


CAP の底面から M6 のネジで Pocke TATOR を固定します。

VP65 管の横穴からケーブルを引き出したケーブルも接続して、CAP を被せて、ネジで固定して完了です。



## 【設置事例】



BS ANT 設置アダプタ設置



屋根馬設置

## 【注意事項】

- ① この製作事例は、個人的な趣味の範囲で製作したものであり、メーカー製のような仕上がり、品質を保証するものではありません。得られた結果、製作されて発生した障害、事故等については一切責任を持ちません。
- ② 使用した管には肉厚のある VP 管（肉厚の薄い VU 管でも使用可能と思いますが）を使用し、強度的に安心できるものと思っておりますが、具体的な強度、耐久性を保証する物ではありません。
- ③ 寸法など、約、おおよそ、また幅を持たせた表現をしたところが多くありますが、これらは精度を求めるところではないからです。手持ちの工具等に合わせて判断して加工してください。
- ④ 唯一、CAP 部とメインマストホルダー部分との結合用のネジ穴は位置が一致している必要があるため、CAP を被せた状態で一緒に穴あけ加工をしてください。

※ 自作の楽しみと、自作品を使った運用をお楽しみください！